

平成29(2017)年度

河川水質検査結果 (美土里町分)

毎年、市内の河川の水質を把握するため、水質検査を行なっています。

水質検査項目	水素イオン濃度 (pH)		生物化学的酸素要求量 (BOD)		浮遊物質 (SS)		溶存酸素量 (DO)		大腸菌群数		
	7が中性、7より下は酸性、7より上はアルカリ性。		BODの値が大きいほど有機性の汚れが大きい。		SSが大きいほど水の濁り透明度が悪い。		汚染度が高ければ少なく、きれいな水ほど酸素が多い。				
河川環境基準値 (A類型)	6.5以上 8.5以下		2mg/ℓ 以下		25mg/ℓ 以下		7.5mg/ℓ 以上		1,000MPM /100ml以下		
NO	検査場所	検査月		検査月		検査月		検査月		検査月	
		10月	2月	10月	2月	10月	2月	10月	2月	10月	2月
1	本村川 深渡	6.9	6.9	定量下限値未満	定量下限値未満	定量下限値未満	定量下限値未満	9.5	12	11,000	49
2	生田川 下北	6.7	6.7	定量下限値未満	定量下限値未満	定量下限値未満	定量下限値未満	9.5	12	4,900	23
3	生田川 石丸	6.6	6.6	定量下限値未満	定量下限値未満	1	定量下限値未満	9.9	12	3,300	7
4	本村川 JA美土里支所裏	6.8	6.8	定量下限値未満	0.5	1	定量下限値未満	9.7	12	7,700	33
5	川撫川 川撫バス停	6.7	6.8	定量下限値未満	定量下限値未満	1	定量下限値未満	9.6	12	3,300	17

※環境基準とは

- ・環境基本法により生活環境を保全する上で望ましい基準のことをいう。
- ・利用目的に応じて、AA類型からE類型の6段階に分かれている。
- ・A類型の基準を満たす水は、沈殿ろ過等により浄水操作をおこなえば飲料水として利用できる。
又、ヤマメ、イワナ等の水産生物の生息も可能である。

みんなできれいな水を守るために

家庭の排水等の浄化を心がけましょう